

講義科目名称： 福祉会計Ⅱ

授業コード： 20174

英文科目名称： Accounting and Finance Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択必修
担当教員			
井上 由起子			
添付ファイル			

講義概要	福祉分野の財務諸表をざっくりと読解した後、貸借対照表の構造を演習を通じて学ぶ。その後、受講生の所属法人の財務諸表の分析を行い、会計書類から法人の姿勢や経営状態を理解する。企業会計と社会福祉法人会計の双方を取り扱う。関連して、社会福祉法人の内部留保問題を扱う。
各回の進行予定	第1回 財務諸表のつながり 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の関係 第2回 貸借対照表① 一般企業と介護業界の貸借対照表をざっくり理解する 第3回 貸借対照表② 事業活動によって貸借対照表がどのように変化するかを理解する 第4回 貸借対照表③ 事業活動によって貸借対照表がどのように変化するかを理解する 第5回 経営指標 ROA、ROE、自己資本比率、当期純利益率、流動比率 第6回 財務諸表の分析① 受講生の所属法人の財務諸表を分析する 第7回 財務諸表の分析② 受講生の所属法人の財務諸表を分析する 第8回 財務諸表の分析③ 受講生の所属法人の財務諸表を分析する、内部留保問題
講義のねらいと到達目標	【講義のねらい】 会計に関する基本知識を身につけ、法人や事業所の経営状態を理解するとともに、経営に活かす方法を獲得する。 【到達目標】 ・財務諸表（PL、CF、BS）の関連性が直観的に理解できる。 ・貸借対照表（BS）と損益計算書（PL）の関係性を詳細にマスターする。 ・財務諸表から法人の姿勢やサービスや経営状態が推測できる。
指定教科書(テキスト)	特に定めない
参考文献・関連URL等	國貞克則、財務3表一体理解法、朝日新聞社、2007 國貞克則、財務3表一体分析法、朝日新聞社、2009 岩谷誠治監修、会計の地図、ダイヤモンド社、2021
出欠確認方法	教員による目視ならびにリアクションペーパーにて確認する。3回以上欠席した者の単位認定はできない。
成績評価の方法	評価は到達目標の達成状況を踏まえて行う。リアクションペーパー内容（20点）、事前課題（20点）、授業への参加姿勢（40点）、知識定着テスト(20点)を総合して評価する。
成績評価基準の内容	60点以上を可とし、60点未満の場合は不可とする。
事前・事後学習のためのアドバイス	電卓（スマホ可）を持参すること。 ※初回は事前課題はありません。
他の科目との関連、教育課程の中での位置づけ、キーワード	福祉会計Ⅰの理解を前提として授業を進めます。 福祉会計Ⅱは同一時間帯に別の科目をしていますが、無理して福祉会計Ⅱをとる必要はありません。
ベンチマーク	この科目で獲得を目指すディプロマ・ポリシーについて次のように優先順位を位置づけています。 1. ア 福祉実践とその現場の創造的な発展に必要な基本的な知識を修得した者 2. イ 理論と実践の両面にわたる能力を備えている者 3. ウ 価値を基盤とした職業的倫理を深く理解した実践的な専門的職業人である者